

2021 年 10 月 15 日

東洋インキ株式会社

東洋インキ 高バイオマス・LED 硬化型フレキシインキ開発

～従来品と比べ、原料調達からインキ燃焼時までの CO₂ 排出量を 18%削減～

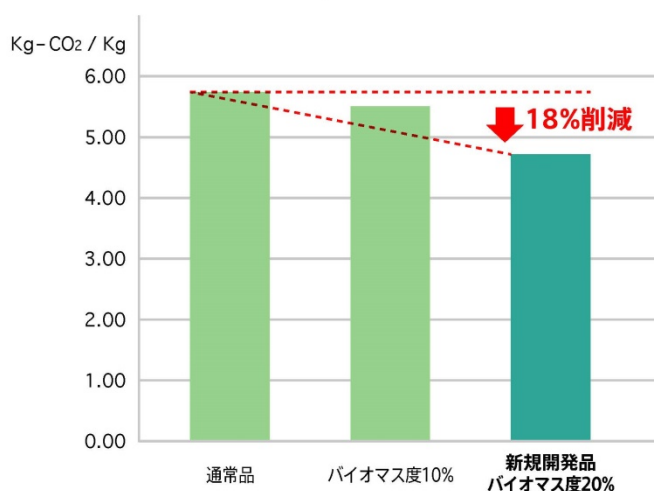
東洋インキ株式会社（代表取締役社長 柳 正人、東京都中央区）は、シール・ラベル用途に適した、バイオマス度 20%の高バイオマス LED 硬化型フレキシインキを開発いたしました。

地球温暖化や海洋プラスチック問題など様々な環境問題への対応が求められるなか、東洋インキは環境に配慮した製品開発に積極的に取り組んでいます。植物由来の資源を原料の一部に使用するバイオマスインキにおいてもラインナップの拡充を進めており、2020 年にはバイオマス度 10%の UV 硬化型フレキシインキを発売しました。

この度東洋インキが開発した高バイオマス LED 硬化型フレキシインキは、市場のさらなる環境対応ニーズにお応えし、印刷用インキでは数少ないバイオマス度 20%を実現いたしました。通常バイオマス度を上げると硬化性および物性が低下しますが、本製品は処方化技術により UV ランプよりもさらに省エネルギーな LED ランプでも硬化^{※1}し、かつ従来品同等の物性を発揮します。また一部バイオマス原料には廃機される廃植物油を再利用したものを採用しており、循環型社会に貢献しております。

「高バイオマス」と「LED 硬化」の組み合わせにより、従来の UV フレキシインキと比較し、原料調達からインキ燃焼時までの CO₂ 排出量を約 18% 削減することができます^{※2}

UV硬化型フレキシインキ1kgあたりのCO₂排出量試算結果



東洋インキは、今後も持続可能な社会の実現に向けて環境調和型製品の開発に注力し、お客様やエンドユーザ様の SDGs 目標やサステナビリティへの取り組みに貢献してまいります。

※1 特定の LED ランプでの硬化を確認。ご使用の際は事前評価をお願いいたします。

※2 当社比。LCI データベース IDEA version 2.3 に基づき算出。

東洋インキ株式会社 〒104-8378 東京都中央区京橋 2 丁目 2-1 京橋エドグラン Tel: 03-3272-3435 Fax: 03-3272-3436
Toyo Ink Co., Ltd. Kyobashi EDOGRAND Bldg., 2-1, Kyobashi 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-8378 JAPAN
Tel: +81-3-3272-3435 Fax: +81-3-3272-3436 URL: www.toyoink.jp Mail: info@toyoinkgroup.com

※ TOYO INK、および TOYO INK ロゴは、東洋インキ SC ホールディングス株式会社の商標もしくは登録商標です。

以上

本件に関するお問い合わせ先	報道・出版関連、その他一般の方々
東洋インキ株式会社 マーケティング本部 印刷情報部 担当 関口、二名 TEL: 03-3272-7693	東洋インキ SC ホールディングス株式会社 グループ広報室 TEL: 03-3272-5720 MAIL: info@toyoinkgroup.com